

7月のほけんだより



2025年6月30日
ひいらぎこども園
園長 中田 純子

日に日に日差しが強くなり、心弾む夏がやってきました。
天気がよければ、毎日プール！の子どもたち。元気そうに見えても、体は意外と疲れています。
おうちではゆったりと過ごせるようにご配慮ください。

プール前に全身チェックを！



とびひや水いぼ、傷などはありませんか？

ジュクジュクしている場合は、水遊びやプールに入ることができません。

虫刺されやあせも、アトピー、すり傷などを触ったり掻いたりすると皮膚の表面に細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり、水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。ジュクジュクしてきたら早めに医療機関を受診しましょう。「水遊び届」の提出をお願いします。

気をつけよう！夏にはやる病気



ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛む（乳児はミルクが飲めないほど）。



溶連菌

高熱とのどの痛み、小さい赤い発疹、イチゴ舌などの症状がでる。抗生剤の服用が必要。



プール熱（アデノ）

（咽頭結膜熱）

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。



手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ほうができ、熱が出ることもある。

感染症には登園届が必要です

発熱した場合は、熱が下がってから24時間後の登園をお願いします。普段のように食事が摂れて、全身状態が良好になったからの登園をお願いします。

虫よけ対策！

「蚊」が人や動物によってくる第一の原因は「**二酸化炭素：炭酸ガス**」にあるようです。この炭酸ガスに誘われて、蚊は25～35メートルも離れた所から飛んでくるようです。また、汗の成分に含まれる「**乳酸**」の匂いも好み、さらに「**O型**」の血液型も好まれていると言われています。子どもがよく蚊に刺されるのは、新陳代謝が著しく汗をかきやすく、皮膚での呼吸も盛んなため、乳酸や二酸化炭素を多く出しているからだと考えられます。さらさらした汗よりもベタベタした汗を好み、白よりも黒を好みます。また、香水などのきつい香りにも寄ってきます。

（靴下をこまめに履き替える、履いていた靴を乾燥させる、汗をかいたらシートやタオルで拭く、無臭タイプの制汗スプレーなどを活用する、ミカンなど柑橘系の香りの物を置く）

・・・対策をしても刺されてしまった場合・・・

効果的なものは、やはりかゆみ止めです。その他は、保冷材や流水で冷やすことが良いと言われています。